

町長に聞く!



Q₁

初夢はいかがでしたか? また、今年の神石高原町のかじ取りの抱負についてお聞かせください。

A

今年の初夢は、町が安泰で、明るい姿となる夢を見ました。

今年の千支は猪ですが、この二年間はまさに猪突猛進の勢いで過ごしてきました。今年からは時に寛大でありながらも、時に猛進していく「寛猛自在」の姿勢で取り組んでいきたいと思っています。

合併して三年目となりますが、これまで以上に「住民から信頼される行政」を目指し、「集中と選択」「創造と改革」そして、「信頼と合意」を合言葉に、住民の先頭にたって頑張る所存です。

また、今年度を「財政再建元年」と位置づけて、七、十年程度の中期的な見通しを持って、「集中改革プラン」と「公債費負担適正化計画」を確実に実行していきます。

※「寛猛自在」……ゆるやかなことと、きびしいことを意のままにすること（広辞苑より）



CONTENTS

新春インタビュー
牧野雄光神石高原町長に聞く!

TOPICS&NEWS
各地区での催し

自治振興会の紹介

保健福祉センターだより

油木高校ジャーナル/交番だより

平成17年度 決算報告

人事行政の運営の状況

町からのお知らせ

暮らしのインフォメーション

図書館だより

バスケットニュース

輝いている人を紹介します

今月生まれのお友達

(今月の表紙)
初日の出(仙養ヶ原)

牧野雄光

神石高原

新春インタビュー

Q₂

格差社会が叫ばれていますが、神石高原町長としてどのようにお考えですか？

A

全国的には格差の拡大が言われているわけですが、町内に関していえば、地域及び町民の中の格差を作らないように努力していきます。

ただ、旧来の町行政に依存する体質ではなく、財政状況の厳しさを執行者、町職員、議会、住民のみんなが共有することが大切であると考えています。

さらに、本町の基幹産業の農林業について申し上げると、全国的に個々の農家の経営がなりたたない、一部の認定農業者や集落法人しか恩恵を受けない政策となっています。

これでは、本町の大半の農家が切り捨てられる危機があります。条件の緩和なども考慮した政策が展開されるよう、国、県に強く働きかける事が必要であると考えています。

Q₃

神石高原町の将来を担う子どもたちにメッセージをお願いします。

A

昨今、携帯電話やテレビなどの影響で、周囲に多くの誘惑があり、子どもたちの将来に大人たちがどうかかわりを持つべきか、しっかりと見極めて支援をすることが大切だと思います。

子どもたちは町の将来を担う宝ですから、心を一つにして勉強に励んでもらいたいですね。そして、身体を動かしていっぱい遊んで欲しいものです。